



生活支援コーディネーターだより

照りつける太陽と青々とした葉っぱが、本格的な夏の訪れを感じさせます。熱中症対策をしっかりとこないながら、健康に夏を乗り越えられるようにしましょう!!

令和6年8月

第3号

高齢者の買い物・移動手段解決に向け 第二層協議体開催!!

地域支え合い まちづくり



「3自治会合同移動支援」の経緯
兼箇段区、米原区、新赤道自治会にて、高齢者の買物などの移動手段について、同様な課題があり、3自治会の移動支援合同協議の運びとなりました。

「いつまでも、住み慣れた地域で安心して、自分らしく暮らし続けるために」引き続き3自治会で移動手段に関して協議を行い、課題解決に取り組んでいきたいと思ひます。

今回、兼箇段区にあるデイサービス「一笑懸明」・地域包括支援センターのご参加ありがとうございました。

○地域住民の皆様のご参加もお待ちしております!!

兼箇段区自治会・米原区自治会・新赤道自治会

協議体の目的・役割等

① 協議体の設置目的

生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、多様な主体の参画が求められることから、市町村が主体となって、「定期的な情報の共有・連携強化の場」として設置することにより、多様な主体間の情報共有及び連携・協働によるサービスや資源開発等を推進することを目的とする。

② 協議体の役割等

- コーディネーターの組織的な補完
- 地域ニーズの把握（アンケート調査やマッピング等の実施）
- 情報の見える化の推進
- 企画、立案、方針策定を行う場
- 地域づくりにおける意識の統一を図る場
- 情報交換の場
- 働きかけの場



令和6年度 第一層協議体開催!!

「地域を支える仕組みづくり」協議体



令和6年度 第一層協議体「地域を支える仕組みづくり」

目的

1. 地域住民、事業所、うるま市社会福祉協議会が協働しながら、高齢者の生活支援・介護予防の充実に向け、多様な主体によるネットワークづくりに取り組む
2. 地域の支え合い推進を目的に、うるま市の実情に応じた地域課題の共有及び連携を強化する

○高齢化の進展などにより、経済的・社会的に多くの困難を抱える地域が増えている。地域社会の問題は深刻化、多様化しており、問題解決のために、行政だけでなくNPO、住民、企業など地域構成員の貢献が期待されている。